

平成26年度の取組 2

(2) 校内研修の実施

- ・ 7月16日「高等学校における道徳教育の推進について」
藤永芳純先生（大阪教育大学 名誉教授）
- ・ 9月17日「道徳教育指定事業について」（校長）
- ・ 10月1日「道徳教育とは」（教頭）
- ・ 1月22日「ねらいに迫る個人思考と集団思考のあり方」
竹田敏彦先生（広島国際大学 教授）

(3) 集会行事の活用

- ・ 前期始業式 「福楽と地獄の違い」（校長）
- ・ 前期終業式 午前部・夜間部 「ハイソウのジレンマ」（校長）
午後部 「タッチアウト」（教頭）

平成26年度の取組 3

(4) 校内研修で考え方を整理

○ 中学校道徳教育内容項目

- 1 (1)～(5)－自分自身に関すること
- 2 (1)～(6)－他の人とのかかわりに関すること
- 3 (1)～(3)－自然や崇高なもののかかわりに関すること
- 4 (1)～(10)－集団や社会とのかかわりに関すること

○ 自尊感情－自分自身を価値あるものとする内的感覚

- 自己肯定感** 1－(2)（希望・勇気・強い意志）、1－(5)（向上心・個性の伸長）他
自己有用感 4－(4)（役割と責任の自覚）、4－(6)（家族愛）他
自己存在感 2－(6)（尊敬・感謝）、3－(1)（生命尊重）他
他者からの受容感 2－(2)（人間愛・思いやり）、2－(3)（信頼・友情）他

平成26年度の取組 4

(5) ホームルーム活動 7月9日

戸手保育所訪問（カブトムシ寄贈・聴講生と訪問）



園児との交流



聴講生との交流

平成26年度の取組 5

LHR 12月3日実施

年次 2年次午前部

主題名 強い意志 1－(2) 関連項目 個性の伸長 1－(5)

ねらい 過酷な状況で生きてきたサヘル・ローズさんの生き方を通して、

自分の人生と向き合う勇気と強さを学ぶ。その後、構造的グループ・エンカウンターを通して自分の短所に対する見方を変える。

資料名 「サヘル・ローズ」 出典：集英社 「人間らしくヘンテコでいい」

補助資料 「伝えたいことがあるから—女優・サヘル・ローズ—」

NHKテレビ「ハートネットTVブレイクスルー」より

生徒の感想

平成26年度の取組 6

授業 公民科（倫理） 10月23日実施

1～4年次（選択者）

単元名 大単元 第5章 現代の諸問題と倫理

小単元 ①生命の問題と倫理課題

資料 ①「エリカ 奇跡のいのち」 講談社

ルース・バンダー・ジーノ文 ロベルト・インノチェンティ

絵 桐田邦男/訳

② DVD 「私の中のあなた MY SISTER'S KEEPER」

アメリカの人気作家ジョディ・ピコーの原作、ニック・カサヴェテス

監督が映画化

生徒の感想

平成26年度の取組 7

資料② DVD 「私の中のあなた MY SISTER'S KEEPER」

アメリカの人気作家ジョディ・ピコーの原作、ニック・カサヴェテス

監督が映画化



平成26年度の取組 8

「道徳教育改善・充実」総合対策における児童生徒の意識等調査結果より
『そう思う』と回答した割合（1年次～3年次の集計）

- 5 自分にはよいところがあると思う
5月調査－21% 12月調査－23%
- 3 人の役に立つ人間になりたい
5月調査－63% 12月調査－66%
- 4 努力する人間になりたい
5月調査－57% 12月調査－61%
- 6 将来の夢や目標を持っている
5月調査－44% 12月調査－42%

平成27年度の取組 1

(1) 目標の明確化

【平成27年度始めにあたって】より（4月1日の職員会議で）

○ 自己肯定感を育む教育の創造

（自尊感情、自己有用感、自己効力感、自己存在感、自己成長感、自己充実感、自己決定、他者からの受容感、共感的人間関係 等）

- ① 生徒が活動する場面を積極的・計画的に設定する。
 - ・授業 — アウトプット（意見発表）等
 - ・HR活動、学校行事等 — 役割分担の設定等
 - ・部活動 他
- ② 適切な課題（負荷）を設定 → 肯定的な評価や励ましなどの声かけ

平成27年度の取組 2

(2) 推進体制

校長・教頭2名・事務長・生徒指導主事・保健主事・教務部・進路指導部
地歴公民科より各1名 の9名で構成



【本年度は校務運営会議を母体に変更】

校長・教頭2名・事務長・生徒指導主事・保健主事・**教務主任**
進路指導主事・地歴公民科1名・**家庭科2名**・英語科1名の12名で構成

(3) 具体的な取組—前年度に検討した内容

- ・HR—前期・後期に各1回の道徳LHR実施（前期は全クラス終了）
- ・各教科—全体計画にそって1回の道徳をテーマとした研究授業を実施

平成27年度の取組 3

(4) 各分掌の取組との関連付け

- ・教務部—生徒の「アウトプット」を重視した授業づくり、授業規律
- ・生徒指導部（生徒指導担当）—生徒会活動、文化祭、携帯・スマホの情報モラル
- ・生徒指導部（保健担当）—清掃活動、花壇づくり、食育カルタ
- ・進路指導部—インターンシップ、ボランティア

平成27年度の取組 4

道徳教育推進委員会の活動—教材の提示①

(1) 構成的グループエンカウンター

- ・「エクササイズ あてっこゲーム」
- ・「エクササイズ サイコロ トーキング」等

(2) 読み物資料

- ・「人であふれた駐車場」
- ・「あるレジュウの女性」等

(3) 視聴覚教材—NHK道徳ドキュメント（DVD・15分間）

- ・「あいさつの力」
- ・「命の大切さを伝えて」等

平成27年度の取組 5

道徳教育推進委員会の活動—教材の提示②

(4) J—POP歌詞

- ・「花の名」（BUMP OF CHICKEN）
- ・「GIFT」（Mr. Children）
- ・「ここにしかない景色」（関ジャニ）

(5) 新聞記事資料

- ・「天声人語」（朝日新聞、平成22年6月8日）
内容：アメリカ大リーグの誤審等
- ・「2014 ブラジル ワールドカップ」（朝日新聞、平成26年6月21日）
内容：ギリシャ戦後、日本サポーターの一部が観客席を清掃

平成27年度の取組 6

教職員の意識の変化 - 「道徳教育改善・充実」総合対策における意識等調査結果より

○ 項目1 (本校の道徳教育は充実していると思う) ~ 14 (生徒会活動や学校行事などにおいて、生徒が学校の一員としての役割や責任をしっかりと果たそうとするように工夫をしている) の全平均

・ 肯定的な回答 (そう思う・どちらかといえば、そう思う) の割合
H 26年5月実施 → H 26年12月実施 → H 27年5月実施
24.6% 35.9% 52.3%

平成27年度の取組 7

校内研修 ペットトーク 8月7日

講師 嶋谷俊明先生 (日本ペットトーク普及協会 認定講師)

テーマ 「今の子ども達に必要なもの ~言葉の魔法~」

ペットトークとは<日本ペットトーク普及協会 HPより>

- ・あなたが応援したい人を勇気づける言葉がけの技術
- ・もともとアメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチ
- ・スポーツ現場はもちろん、家庭で、職場で、教育現場ですぐに実践できるシンプルでポジティブな言葉を使ったコミュニケーション

平成27年度の取組 8

公開研究授業

・ 家庭科 9月25日
1年次午後部 18名 (男子10名・女子8名)
単元名 人の一生と家族

・ ホームルーム活動 (LHR) 10月28日
2年次午後部 29名 (男子12名・女子17名)
テーマ 信頼・友情
理想の友達について考え、他者との意見交流
自己の在り方及び友達関係について考える

平成27年度高等学校道徳教育推進協議会 実践発表

「高等学校における道徳教育の実践」



ご清聴ありがとうございました

平成27年9月29日 (火)
広島県立芦品まなび学園高等学校
教諭 藤井佐枝